



ネットワーク特集に寄せて

執行役員常務
ネットワークビジネスグループ長
大槻 次郎

現代社会の情報通信基盤として、インターネットは人々の生活の隅々まで定着しており、従来のPCから個人の持つスマートデバイスを中心とする高性能な情報端末を入り口に大量のデータ処理をクラウド側と連携して行っていく、高度なネットワーク社会へ進化しております。

また、2020年には500億個のデバイスがつながると言われるIoT（Internet of Things）が実現していくと、人が活動している物理空間とIoTデバイスから生成される大量のデータ処理を行うICT空間の相互作用、つまりCPS（Cyber Physical System）の世界では、従来想像もできなかった新しい知の創造や新しい体験（Experience）による新たな価値の創出が期待できることになると考えられます。

更に、人工知能やロボティクス技術の進化に伴い、情報処理面での支援に加え、人の物理的行動を直接支援する各種ロボット、自動運転による車やドローンなどが私たちの身近な生活に浸透していくことも遠い未来のことではありません。

このような社会を支えるためのネットワーク技術は、従来の大容量で高速データをトランスペアレントにつなぐということだけではなく、トラフィックやデバイスの爆発的な増加に伴うリソースの最適化やレスポンス性能の向上、ならびにネットワークサービスの信頼性を保証するセキュリティ機能などの重要性は今後ますます高まります。また、ネットワークにおいても、過去サーバに見られたような専用ハードウェアから、汎用ハードウェア上でソフトウェアによる機能実現という形態が、SDN（Software Defined Networking）やNFV（Network Functions Virtualisation）となって進展してきており、新たなサービスが加速的に創出されることが期待されます。更に、仮想移動体通信事業者（MVNO：Mobile Virtual Network Operator）を中心とした新たなサービスの登場で、既存の通信キャリアを中心としたネットワークインフラやサービスも大きく変化していくことになるでしょう。

本特集号では、富士通が長年培ってきた通信のインフラ技術開発を軸に、多彩なサービス提供を実現するネットワークシステムプラットフォームとソリューション、ネットワークサービスを支える高度化技術、および社会基盤を支える通信技術についてご紹介いたします。

富士通は、お客様へのネットワークインフラの提供を通じ、お客様との共創によるビジネス変革を目指し、お客様とともに豊かな社会づくりに貢献してまいりたいと考えております。

本特集号を何卒ご高覧賜りたく、よろしくお願い申し上げます。